

別紙文部大臣請議衆議院議決選舉

衆乙第七八號	案起昭和十八年七月三日	閣議決定昭和十八年七月三日	行昭和十八年七月三日
内閣總理大臣	内閣書記官長	内閣書記官	内閣書記官
外務大臣	海軍大臣	法制局長官	法制局長官
内務大臣	司法大臣	商工大臣	商工大臣
大藏大臣	農林大臣	遞信大臣	鐵道大臣
陸軍大臣	厚生大臣	大東亞大臣	大麻國務大臣

一衆議院議員加藤知正提出米ノ生產力增强 ト消費節約ニ關スル質問ニ對スル農林大臣答辯書
一衆議院議員柳口善右衛門提出戰力增强ノ根本對策タル青年學校施設擴充ニ關スル質問ニ對スル内閣總理大臣並文部大臣答辯書
一貴族院議院田中館愛櫛提出國語ノローマ二〇二八一九字綴り方統一ニ關スル質問ニ對スル文部大臣答辯書

B4判 (東東2221)

0000 0023

復興ニ関スル請願ノ件外十二件ヲ審
査スルニ右請願ニ對スル各大臣ノ意見ハ
孰レモ相當ノ儀ト認メラルニ付請議
通閣議決定相成然ルベシ

例文指今案

番號	見出	件名番號	請議大臣	件	名	意見概要
二	衆乙七八文部大臣	一衆乙七八文部大臣	漢學復興ニ關スル 請願ノ件	件	漢學ヲ振興シテ東洋恩 想ノ特質ヲ理解スルニ 力メ以テ興亞精神ヲ發 揚シ日本世界觀ノ確立 ニ資スルハ現下極メテ肝要 ナル事項ナリト思料セラル ルヲ以テ諸種機關ヲ通 じ漢學ノ普及ニ努メツ ワアリ尙今後共ニ請願ノ 趣旨ニ副ニ様努力致度	漢學ヲ振興シテ東洋恩 想ノ特質ヲ理解スルニ 力メ以テ興亞精神ヲ發 揚シ日本世界觀ノ確立 ニ資スルハ現下極メテ肝要 ナル事項ナリト思料セラル ルヲ以テ諸種機關ヲ通 じ漢學ノ普及ニ努メツ ワアリ尙今後共ニ請願ノ 趣旨ニ副ニ様努力致度
二	衆乙七八文部大臣	請願ノ件	請願ノ件	件	請願ノ件	請願ノ件
二	衆乙七八文部大臣	請願ノ件	請願ノ件	件	請願ノ件	請願ノ件

番號	件名番號	請議大臣	件	意見概要	件	意見概要	件	意見概要
七 農林大臣 貴乙ニ〇	文部大臣 衆乙ニ九	文部大臣 德島市ニ帝國大學 開設、請願ニ閣スル 件	鹿兒島市ニ科學博物館設置、請願ニ 閣スル件	財政其、他諸般、事情 ニ徴し尚考究、要アリ ト思料セラル	和學復興ニ閣スル 請願、件	請願、趣旨トスル、教學、 振興、大東亜建設、歴史的使命達成上其、根基ヲ培フ所以ニシテ現下喫 憚ノ要務ナルヲ以テ各種機関ヲ通シ我が國教學、 本義、徹底ヲ期レツワリ 一役ト其、振興ニ努力致度	孝子祭制定並孝子追賞ニ閣スル請願、 件	孝子祭日ヲ全國畫一的 ニ制定スルコトハ現行國家、祝祭日ト、閣係上 慎重考究ヲ要ス 孝子追賞ニ閣シテモ研究中ナリ
六 農林大臣 貴乙ニ〇	文部大臣 衆乙ニ九	文部大臣 德島市ニ帝國大學 開設、請願ニ閣スル 件	鹿兒島市ニ科學博物館設置、請願ニ 閣スル件	財政其、他諸般、事情 ニ徴し尚考究、要アリ ト思料セラル	和學復興ニ閣スル 請願、件	請願、趣旨トスル、教學、 振興、大東亜建設、歴史的使命達成上其、根基ヲ培フ所以ニシテ現下喫 憚ノ要務ナルヲ以テ各種機関ヲ通シ我が國教學、 本義、徹底ヲ期レツワリ 一役ト其、振興ニ努力致度	孝子祭制定並孝子追賞ニ閣スル請願、 件	孝子祭日ヲ全國畫一的 ニ制定スルコトハ現行國家、祝祭日ト、閣係上 慎重考究ヲ要ス 孝子追賞ニ閣シテモ研究中ナリ
五 衆乙ニ九	文部大臣 衆乙ニ九	文部大臣 德島市ニ帝國大學 開設、請願ニ閣スル 件	鹿兒島市ニ科學博物館設置、請願ニ 閣スル件	財政其、他諸般、事情 ニ徴し尚考究、要アリ ト思料セラル	和學復興ニ閣スル 請願、件	請願、趣旨トスル、教學、 振興、大東亜建設、歴史的使命達成上其、根基ヲ培フ所以ニシテ現下喫 憚ノ要務ナルヲ以テ各種機関ヲ通シ我が國教學、 本義、徹底ヲ期レツワリ 一役ト其、振興ニ努力致度	孝子祭制定並孝子追賞ニ閣スル請願、 件	孝子祭日ヲ全國畫一的 ニ制定スルコトハ現行國家、祝祭日ト、閣係上 慎重考究ヲ要ス 孝子追賞ニ閣シテモ研究中ナリ

番號	件名番號	請議大臣	件	名	意見概要
一〇 衆ニニ農林大臣	九 衆ニニ農林大臣	八 衆ニニ農林大臣	件	水產食糧ノ生産増強ニ關スル請願ノ件	水產物ノ公定價格ニ關シテハ深甚ナル注意ノ下ニ適正ナル改訂ヲ圖リ又水產物ノ圓滑ナル配給機構ノ整備改善ニ努力カシ以テ國民栄養食糧確保ニ遺憾ナキヲ期レツワリ
告前村建網統數 增加ニ關スル請願 件	水產團體統合斷行 二關スル請願ノ件	同前	件	既存水產業團體ノ統合整備ハ急速ニ實現ヲ見ル豫定ナリ	充ニ努メ地面漁船造船能力ノ増大ヲ圖ル為計畫建造ヲ實施シ以テ生產力ノ維持增强ヲ圖リツツアリ
メントス	北海道廳長官ヲシテ適宜ノ處置ヲ採ラシ				

番 號	見 出	件名番號	請議大臣	件 名	意 見 概 要

一一一〇七 農林大臣 離農防止ニ関スル
請願、件

國民動員計画ニ於テ
極力農業勞力ノ確保ニ
努メ、農業生産ニ必要
ナル農業者ニ就イテハ農
業生産統制令、運用ニ
依リ之ヲ農業ニ止ムル
措置ヲ採ルトサツニ、其同
作業、移動勞働、勤労
奉仕等、實施ニ依リ
労力不足ヲ克服シツワリ。
尚農家、安定ヲ圖リ離農
防止スベキ方策トシテハ自
作農創設事業、強化、
農業保險事業、擴充等
各般、施策ヲ考慮シアリ。

官學六四號

漢學復興ニ因スル請願ノ件

一、請願者

妹 尊 勝 太

二、請願ノ趣旨

右請願ノ趣旨ハ我カ國文化ノ發達ニ大ナル貢獻ヲ爲シタル漢學ヲ復興

シテ日華提携ニ資スル爲諸般ハ方途ヲ諂セラレタシト謂フニ在リ

一、右ニ對スル意見

漢學ガ我國學問文化ノ進展竝ニ威民道德ノ振作更張ニ貢獻セルトコロ

大ナルハ史實ニ徴シ明白ナル事實ナリ

而シテ今ヤ大東亜建設ノ大業ヲ完遂セントスルニ當リ漢學ヲ振興シテ

東洋思想ノ特質ヲ理會スルニ力ノ以テ興亞精神ヲ發揮シ日本世界觀ノ



確立ニ資スルハ現下極メテ肝要ナル事項ナリト思料セラル

文部省ニ於テハ後テコノ弊ニ留意シ中等學校ニ於テハ我力撫及支那ノ學賢、偉人、烈士等ノ漢詩文等ヲ漢文教材トシテ採用シ之ヲ通シテ東洋本來ノ思想ノ把握ニ資スルト共ニ高等學校大學漢科ノ古典科人文科等ニ於テハ東洋古典ヲ講シ其ノ他道義歴史哲學等ノ學科ニ於テモ儒學等ニ關スル道德思想ヲ講シ其ノ特質ヲ理會セシムルニ力メツツアリ又本省ニ設置ヤラアル日本語學振興委員會ノ新學會ニ於テ漢學關係ノ研究發表等ヲモ行フ外其ノ研究報告並數學局編纂ニ係ル日本精神叢書教學叢書等ニ於テ漢學及東洋思想ニ關スルモノヲモ編輯シ其ノ普及ニ努メツツアリ尙今後其請願ノ趣旨ニ副フ様努力致度

右閣部ヲ請フ

昭和十八年七月十九日

文部大臣　子爵　岡　部　長



内閣總理大臣　貞　條　英　機　殿

意見書

(請願特別報告第七七號)

請願文書表第一〇九號

昭和十八年二月二日呈出

漢學復興ニ關スル請願

請願者 神奈川縣川崎市上小田中五百六十三番地 農業 妹尾勝太

紹介議員 坂東幸太郎君

右請願ノ趣旨ハ我カ國文化ノ發達ニ大ナル貢獻ヲ爲シタル漢學ヲ復興シテ日華提携ニ資スル爲諸般ノ方途ヲ講セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十九日

衆議院議長岡田忠彦

衆乙七八

内閣總理大臣 東條英機 殿

衆議院書記官長 大木一操



二

官科一八號

經度ノ改正ニ關スル請願

議院ニ於テ議決セラレタル 經度改正ノ請願ニ關スル件左記ノ道

ニ付右關識ヲ請フ

昭和十八年七月十六日

文部大臣 子爵 同部 長

内閣總理大臣

東條

英機

殿



記

一、請願人　島根縣安濃郡久手町竹下

三、

二、請願ノ趣旨

大東亜共榮圈建設ノ基礎確立シ世界情勢ニ一大變革ノ行ハレントスルノ秋海洋發展ニ重要ナル關係ヲ有スル經度力敵英國「グリニッヂ」大文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トシテ測走セラルルハ適當ナラス且其榮圈内ニ於ケル日付算定上多大ノ不便アリ依テ速カニ現行ノ經度測定方法ヲ廢棄シ東京中央大文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トスル經度測定方法ヲ採用セラレタシト謂フニ在リ

三、右ニ對スル意見

大東亜共榮圈建設ノ基礎確立シ世界情勢ニ一大變革ノ行ハレントスルノ秋本初子午線トシテ英國「グリニッヂ」大文臺子午儀ノ中心ヲ經過スル子午線ヲ廢棄シ東京都麻布區飯倉町東京天文臺大子午儀ノ中心ヲ經過スル子午線ヲ採用セントスル其ノ趣旨ハ政府ニ於テモ諒トスルトコロナルモ之ニ就テハ曆ノ編纂、經度ノ決定、時ノ測定等ニ當リ相當ノ準備ヲ必要トシ急速ナル實行ハ種々ノ困難ヲ生ズルノミナラズ假リニ我國單獨ニテ本初子午線ヲ改變スルモノ獨逸、伊太利等盟邦諸國モ亦同時ニ之ヲ採用スルニ非ザレバ學術的連絡ニ當リニ車ノ手數ヲ要シ却ツテ其ノ意義ヲ失フコトナルヲ以テ尚慎重

意見書

(請願特別報告第七九號)

請願文書表第一〇四號 昭和十八年二月二日呈出

經度ノ改正ニ關スル請願

請願者 島根縣安濃郡久牛町十番地 竹下匡三

紹介議員 平川松太郎君

右請願ノ趣旨ハ大東亞共榮圈建設ノ基礎確立シ世界情勢ニ一大變革ノ行ハレントスルノ秋海洋發展ニ重要ナル關係ヲ有スル經度力敵英國「グリニッヂ」天文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トシテ測定セラルルハ適當ナラズ且共榮圈内ニ於ケル日付算定上多大ノ不便アリ依テ速ニ現行ノ經度測定方法ヲ廢棄シ東京中央天文臺ヲ通過スル子午線ヲ起點トスル經度測定方法ヲ採用セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依

衆ニハ

リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長 大木操



官敷六一號

孝子祭制定並孝子追賞ニ關スル請願ノ件

五月一日附内閣衆乙第八二號ヲ以テ御同付ニ係ル標記ノ件ハ左記ノ通
ニ付右懇請ヲ講フ

昭和十八年七月十三日

文部大臣 子爵岡部長景



内閣總理大臣 東條英機殿

安藤紀三郎

内閣總理大臣 東條英機殿



考究セントス

リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

二

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院議長岡田忠彦

衆議院書記官長大木操

官數六一號

孝子祭制定並孝子追賞ニ關スル請願ノ件

五月一日附内閣衆乙第八二號ヲ以テ御同付ニ係ル標記ノ件ハ左記ノ通
ニ付右閣議ヲ講フ

昭和十八年七月十三日

文部大臣子爵岡部長景

内閣總理大臣 東條英機殿

内務大臣

安藤紀三郎

内閣總理大臣 東條英機殿

記

孝子祭日ヲ全國畫一的ニ制定スルコトハ現行國家ノ祝祭日トノ關係上憤重者究ヲ要スルモノト認ム伍シ臨古的ニ之ヲ行フコトハ國民親相ノ上ニ忠孝一本ノ氣風ヲ揚揚スルトコロ大ナルモノアルニ付此ノ種施設ヲ用意想ル限。後援指導セントス。

父孝子追賞ニ關シテモ研究中ナリ。

意見書

(請願文書表第六九號)

昭和十八年一月二十八日呈出

孝子祭制定並孝子追賞ニ關スル請願

請願者 京都市右京區川島北裏町 鈴木岩人外二十六名

紹介議員 田中伊三次君

右請願ノ趣旨ハ忠孝ハ一本ニシテ孝道ハ臣道實踐ノ原動力我カ國綜合國力ノ源泉ナリト信ス依テ速ニ孝子祭ヲ制定シ併セテ全國孝子ノ追賞ヲ行ヒ以テ日本精神ノ作興ト忠孝一本ノ大義ノ徹底ヲ圖ラレタシト謂フニ在リ。

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也。

昭和十八年三月二十五日

立外レハニ

記

セイタクヨウミツノ開港一丸ニ開港スレコト、見子斐家ノ祝祭ヨトノ關係上直

二二四

衆議院議長岡田忠彦

二

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長大木操



0000 0037

官學五六號

和學復興ニ圖スル請願ノ件

一、請願者

岡村齋次郎

二、請願ノ趣旨

右請願ノ趣旨ハ八紘爲宇ノ大理想ヲ實現シ今次聖戰ヲ完遂スル爲和學ヲ振興スルノ要アリト信ス依テ速ニ和學ノ復興ヲ圖ラレタント謂フニ在リ

三、右ニ對スル意見

右請願ノ趣旨トスル教學ノ振興ハ大東亜建設ノ歴史的使命達成上其ノ根本ニ培フ所以ニシテ現下喫緊ノ要務アリ文部省ニ於テハ夙ニ國體ノ本義ノ闡明發揚ニ意ヲ用ヒ國民精神文化研究所ラシテ國民精神

文化ニ關スル研究ヲ掌リ指導及音及ノ實施ヲ行ハシムルト共ニ本省ニ日本諸學振興委員會ヲ設置シテ各學會ヲ開催シ國體ノ本義ニ基ク我國獨自ノ學問、文化ノ創造發展ニ寄與シ來レリ又東京、京都兩帝國大學、東京、廣島兩文化化大學等ニ國體ニ關スル講座、學科目等ヲ設置シ、神宮皇學館大學ヲ創設シテ斯學ノ振興ヲ圖リ又國民學校教育、中等教育、高等專門教育及師範教育ノ全般ニ亘ル教育ヲ改革シ學徒ヲシテ皇國ノ道ヲ修練セシメ、國體ニ對スル信念ヲ確把セシムルニ努メ尙又廣々敎學ノ刷新ニ資スル目的ヲ以テ從來「國體の本義」、「臣民之道」、「國史觀說」等ヲ編纂刊行シ、昭和十八年度以降更ニ詔勅ノ謹輯、古典ノ編修、國史ノ編修等ヲ行ヒ以テ我ガ國敎學ノ本義ノ徹底ヲ明シツヽアリ

本請願ノ主旨トスルトコロニ付テハ如上ノ諸事業ノ振作ヲ圖リ一段ト其ノ振興ニ努力致度
右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十四日

文 部 大 臣 子爵 詞 部 長 景



内閣總理大臣

東 條

英 儀 殿

意見書

(請願特別報告第一五二號)

請願文書表第二四七號 昭和十八年二月十七日呈出

和學復興ニ關スル請願

請願者 三重縣北牟婁郡尾鷲町大字矢ノ濱五百十九番地 歯科醫師 岡村齋次郎

紹介議員 川崎 克君

右請願ノ趣旨ハ八紘爲宇ノ大理想ヲ實現シ今次聖戰ヲ完遂スル爲和學ヲ振興スルノ要アリト信
ス依テ速ニ和學ノ復興ヲ圖ラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

衆議院議長 岡田忠彦



内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長 大木操

二

官料一六號

鹿兒島市ニ科學博物館設置請願ニ關スル件

一 請願者

鹿兒島市常盤町三〇三番地

寺

暉

豊

志

二 請願ノ要旨

鹿兒島縣ハ近世日本科學文明濫觴ノ地ニシテ且大東亜建設ノ南進基地タルノ位置ニアリ又島嶼沿岸山岳等ノ地形複雜ニシテ天然資源豊富ナルヲ以テ政府ハ速ニ鹿兒島市ニ科學博物館ヲ設置シ以テ大東亜ノ科學及文化ノ研究ニ資セラレタシト前フニアリ

三 右ニ對スル意見

參照一五六

文部省



二

三

四

五

現在科學博物館トシテハ東京ニ官立ノ東京科學博物館アルノミナルヲ
以テ地方ニ科學博物館ヲ設置シ科學研究、科學教育ノ振興ヲ圖リ國民
一般ノ科學的才華ヲ高メ國力ノ培養ニ努ルコトハ緊要ナル事項ト認メ
ラルニシガ體現下ノ時局ニ鑑ミ國家財政其ノ他諸般ノ事情ニ衡シ施
鹿兒島縣ニ官立ノ科學博物館ヲ設タルコトハ尙考究ノ要アリト思料セラ
ル

右開議ヲ請ア

昭和十八年七月十九日

文部大臣 予督 橋 齊
内閣總理大臣 東條 勝 櫻 殿



意見書

(請願特別報告第一五五號)

請願文書表第二六一號 昭和十八年二月十九日呈出

鹿兒島市ニ科學博物館設置ノ請願

請願者 鹿兒島市常盤町三百三番地 寺崎豐志

紹介議員 高城 憲夫君外四名

右請願ノ趣旨ハ鹿兒島縣ハ近世日本科學文明濫觴ノ地ニシテ且大東亞建設ノ南進基地タルノ位
置ニアリ又島嶼海濱山岳等ノ地形複雜ニシテ天然資源豊富ナルヲ以テ政府ハ速ニ鹿兒島市ニ科
學博物館ヲ設置シ以テ大東亞ノ科學及文化ノ研究ニ資セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依
リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

三二十一

二

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長 大木操

0000 0042

官導八六號

徳島市ニ帝國大學開設ノ請願

本請願ノ趣旨ハ東亞ノ盟主トシテノ我ガ國ハ大東亞共榮圈建設ノ重大使命ヲ完遂スル爲ニハ科學研究施設ノ擴充、既設大學ノ改革ヲナスト共ニ地理的關係ヨリ見テ適當地タル徳島市ニ四國帝國大學ヲ新設セラレタシト謂フニ在リ

按ズルニ帝國大學ノ創設ニハ巨額ノ經費ヲ要スル實狀ナルヲ以テ國家財政其ノ地ノ關係等ニ稽ヘ相當考慮ヲ要スルモノト認ム

右闇議ヲ請フ

昭和十八年七月十六日

文部大臣
子爵
同
部長
立口



文部大臣	子爵	同	部長	立口
内閣總理大臣	東洋	支那	朝鮮	琉球
外務省	農林省	財政省	鐵道省	郵政省
農林省	財政省	鐵道省	郵政省	立口

意見書

(請願特別報告第三一八號)

請願文書表第四一一號 昭和十八年三月十五日呈出

德島市ニ帝國大學開設ノ請願

請願者 德島市昭和町三丁目二十番地 辯護士 紅露昭

紹介議員 紅露 昭君

右請願ノ趣旨ハ近時我カ國ノ世界的地位ハ愈、强大トナリ今ヤ東亞ノ盟主トシテ東亞全地域内各種資源ノ開發東亞民族文化ノ建設ノ重大使命ヲ負擔スルニ至レリ而テ斯ル大事業ヲ完遂セムカ爲ニハ科學研究施設ノ擴充ヲ圖ルヲ最緊要トス依テ之カ研究機關タル既設大學ノ改革ヲナスト共ニ四國帝國大學ヲ地理的關係ヨリ見タル適當地德島市ニ新ニ開設セラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

二

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣東條英機殿

衆議院書記官長大木操



0000 0044

農閣第四四號

主任 清井漁政課長



水產食糧ノ生產増強ニ關スル請願

東京市赤坂區溜池町一番地

帝國水產會長 青山憲三 呈出

請願ノ要旨

戰時下水產食糧ノ增産ヲ圖ル爲政府ハ速ニ次ノ諸對策ヲ實施セラレムコトヲ望ム

一、漁民精神ノ昂揚並漁民鍊成ニ關スル施設ノ確立
二、漁業勞務ノ調整ニ關スル制度及施設ノ確立
三、漁船ノ建造ニ關スル施設ノ擴充

四 計畫生産ノ徹底化ニ關スル施設ノ強化

五 内水及淺海ニ於ケル増殖施設ノ擴充

六 配給機構ノ整備及之ニ伴フ公定價格制度改善ノ斷行

右貴族院ハ題意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決セリ

右ニ對スル意見

戰時下水產物ノ重要性ニ鑑ミ政府ハ漁業生産資材ノ情況ヲ勘案シ漁業生産ノ計畫化ヲ圖ルト共ニ内水面及淺海増殖施設ノ擴充ニ努メ他面漁船造船能力ノ増大ヲ圖ル爲計畫建造ヲ實施シ以テ生産力ノ維持增强ヲ圖リツツアリ

尙水產物ノ公定價格ニ關シテハ深甚ナル注意ノ下ニ適正ナル改訂ヲ

小取納

日本標準規格 B-4

圖リ又水產物ノ圓滑ナル配給機構ノ整備改善ニ努力シ以テ國民榮養食糧確保ニ遺憾ナキヲ期シツツアリ

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月廿一日

農林大臣 山崎達之輔



内閣總理大臣 東條英機 殿

貴ひ二〇

日本標準規格 B-4

意見書

水產食糧ノ生產增强ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地帝國水產會長青山憲三呈出

右ノ請願ハ戰時下水產食糧ノ生產增强ヲ圖ルハ喫緊ノ要務ナルニ依リ速ニ請願者所案ノ如キ
對策ヲ樹立シ以テ之カ增産ニ遺憾ナキヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ
採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十八年二月二日

貴族院議長伯爵松平賴壽

内閣總理大臣 東條英機殿

農閣第四五號

主任 清井漁政課長

水產食糧ノ生產増強ニ關スル請願

東京市赤坂區溜池町一番地

帝國水產會長 青山 憲三 呈出

請願ノ要旨

戰時下水產食糧ノ增產ヲ圖ル爲政府ハ速ニ次ノ諸對策ヲ實施セラレムコトヲ望ム

一、漁民精神ノ昂揚並漁民鍊成ニ關スル施設ノ確立
二、漁業勞務ノ調整ニ關スル制度及施設ノ確立
三、漁船ノ建造ニ關スル施設ノ擴充



0000 0047

四 計畫生産ノ徹底化ニ關スル施設ノ強化
五 内水及淺海ニ於ケル増殖施設ノ擴充

六 配給機構ノ整備及之ニ伴フ公定價格制度改善ノ斷行

右衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ

右ニ對スル意見

戰時下水產物ノ重要性ニ鑑ミ政府ハ漁業生産資材ノ情況ヲ勘案シ漁業生産ノ計畫化ヲ圖ルト共ニ内水面及淺海増殖施設ノ擴充ニ努メ他面漁船造船能力ノ増大ヲ圖ル爲計畫建造ヲ實施シ以テ生産力ノ維持增强ヲ圖リツツアリ

尙水產物ノ公定價格ニ關シテハ深甚ナル注意ノ下ニ適正ナル改訂ヲ

小委納

日本標準規格 B-4

圖リ又水產物ノ圓滑適正ナル配給機構ノ整備改善ニ努力シ以テ國民榮養食糧確保ニ遺憾ナキヲ期シツツアリ

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月廿一日

農林大臣 山崎 達之輔



内閣總理大臣 東條英機 殿

0000 0048

意見書

(請願特別報告第二六〇號)

小葉納

請願文書表第二七六號 昭和十八年二月二十一日呈出

水產食糧ノ生產增强ニ關スル請願

請願者 東京市赤坂區溜池町三會堂 帝國水產會長 青山憲三

紹介議員 松村 謙三君

右請願ノ趣旨ハ戰時下水產食糧ノ增産ヲ圖ル爲政府ハ速ニ(一)漁民精神ノ昂揚並漁民鍊成ニ關スル施設ノ確立(二)漁業勞務ノ調整ニ關スル制度及施設ノ確立(三)漁船ノ建造ニ關スル施設ノ擴充(四)計畫生產ノ徹底化ニ關スル施設ノ強化(五)内水及淺海ニ於ケル増殖施設ノ擴充(六)配給機構ノ整備及之ニ伴フ公定價格制改善ノ斷行ヲ實施セラレタシト謂フニ在リ
衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也二十五

昭和十八年三月二十五日

二

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院議長岡田忠彦

衆議院書記官長大木操



農閣第四三號

主任 清井漁政課長



水產團體統合斷行ニ關スル請願

東京都赤坂區溜池町一番地

帝國水產會長 青山憲三 呈出

請願ノ要旨

水產團體ノ整理統合ハ多年ノ懸案ニ屬シ本會ニ於テ之ニ關シ提唱セ
ルコト一再ナラズ殊ニ大東亞戰下國民食糧ノ確保増産愈々急ヲ告ゲ
斯業ニ對スル指導力ノ強化ヲ要スルノ一層適切ナルノ秋ニ方リ水產
團體ノ統合ヲ斷行スルハ最大喫緊ノ要務タリト信ス政府ハ今期議會
ニ水產團體法案ヲ提出セラレタルハ洵ニ機宜ヲ得タルモノト謂フベ

ク敢テ是レガ急速ナル實施ヲ要望スル所以ナリ

右衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セ

リ

右ニ對スル意見

第八十一回帝國議會ニ於テ成立ヲ見タル水產業團體法ハ不日施行ノ
見込ニシテ本法施行ニ伴フ既存水產業團體ノ統合整備ハ急速ニ實現
ヲ見ル豫定ナリ

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十九日

農林大臣 山崎達之輔



日本標準規格 B-4

内閣總理大臣 東條英機殿

意見書

(請願特別報告第六七號)

小説

日本標準規格 B-4

月

本

行

請願文書表第一四〇號 昭和十八年一月六日呈出

水產團體統合斷行ニ關スル請願

請願者 東京市赤坂區溜池三會堂帝國水產會長 青山憲三

紹介議員 松村 謙三君

右請願ノ趣旨ハ大東亞戰爭下水產業ニ對スル指導力ヲ強化シ國民食糧ノ確保増產ニ資スル爲水產團體ノ統合ヲ断行スルハ緊急ノ要務ナリ政府カ今期議會ニ水產業團體法案ヲ提出セラレタルハ洵ニ機宜ヲ得タルモノナリト信ス依テ之カ急速ナル實施ヲ圖ラレタシト謂フニ在リ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和十八年 三月 二十三日

衆乙六八

一

0000 0052

三二十五

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長 大木操



0000 0053

18.7.20
書文

主任 清井漁政課長

農閣第三五號

苦前村建網統數增加ニ關スル請願

北海道苦前郡苦前村字上平

漁業 濱 畑 久 作 呈出

請願ノ要旨

北海道苦前郡苦前村ハ著名ナル鯨漁場ナルモ鯨合同會社ノ設立ニ伴ヒ濫獲防止ノ爲ト稱シテ漁場ノ一部ニ於ケル漁獲ハ禁止セラレ鯨建網統數モ亦現在僅二十統ニ制限セラレタルヲ以テ毎年鯨ノ群來アルモ之ヲ漁獲スル能ハザル状態ナリ、依テ前記漁場ノ一部ニ於ケル禁止ヲ解除シ鯨建網統數ヲ十五統乃至十七統ニ増加セラレタシ

右衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セ

リ

右ニ對スル意見

鯨建網漁業ノ整理合同ハ曩ニ北海道廳ニ於テ蕃殖保護ノ目的ニ依リ
之ガ實施ヲ爲シタル所ナルガ此等定置漁業ノ免許ハ地方長官ニ於テ
處理スペキ事項ニ屬スルヲ以テ本件ハ北海道長官ヲシテ適宜ノ處置
ヲ採ラシメントスルモノナリ

右閣議ヲ講フ

昭和十八年七月十九日

農林大臣 山崎達之輔



小葉納

日本標準規格 B-4

内閣總理大臣 東條英機 殿

月　　木　　1

小葉納

日本標準規格 B-4

意見書

(請願特別報告第二六一號)

請願文書表第三六〇號

昭和十八年三月六日呈出

苦前村建網統數增加ニ關スル請願

請願者 北海道苦前郡苦前村字上平 漁業 濱畑久作

紹介議員 坂東幸太郎君

右請願ノ趣旨ハ北海道苦前郡苦前村ハ著名ナル鯨漁場ナルモ鯨合同會社ノ設立ニ伴ヒ濫獲防止ノ爲ト稱シテ漁場ノ一部ニ於ケル漁獲ハ禁止セラレ鯨建網統數モ亦現在僅二十統ニ制限セラレタルヲ以テ毎年鯨ノ群來アルモ之ヲ漁獲スル能ハサル狀態ナリ依テ前記漁場ノ一部ニ於ケル禁止ヲ解除シ鯨建網統數ヲ十五乃至十七統ニ増加セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

衆ニ二六二

一

0000 0055

昭和十八年三月二十五日

二

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院議長岡田忠彦

衆議院書記官長大木操



農閣第四二號

離農防止ニ關スル請願

衆議院議員坂東幸太郎呈出

請願ノ要旨

北海道北部ハ冷害モ一部原因ナレド米價安ト其レニ伴フ資材不足諸物
價ノ昂騰ガ大ナルニ、原因シ、米增産ハ不可能ニシテ離農者激増ノ狀
態ニアリ、又適正小作制度ノ實施ニ依リ自作農創設事業モ殆ド顧ミル
者サヘナキニ至リ之ガ爲水田地價ハ著シク低下シ中小地主ハ自ラ土地ヲ放
棄スル實狀ニアリ、荒廢地ノ激增大ナリ。然ルニ政府ハ目下開發營團
ニ依リ不毛ノ地ニ莫大ナル資本ヲ投ジ銳意其ノ歩ヲ進メラルルト聞ク、



0000 0056

此ノ時政府ハ此等ノ美田ヲ荒廢ニ歸セシム原因ヲ探究シ速力ニ離農對策ヲ講ゼシメラレタシト謂フニアリ

右ハ衆議院ニ於テ議決セリ

右ニ對スル意見

近時農村労力ノ減少ハ全國的現象ナルモ就中北海道ニ在リテハ一戸當耕作面積大ナル爲其ノ影響大ナリト認メラル。

之ニ對シ政府トシテハ年々ノ國民動員計劃ニ於テ極力農業労力ノ確保ニ努メ村ノ農業生産ニ必要ナル農業者ニ就イテハ農業生産統制令入運用ニ依リ之ヲ農業ニ止ムルノ措置ヲ採ルト共ニ、共同作業、移動労働勤勞奉仕等ノ實施ニ依リ労力不足ヲ克服シツツアリ。

小葉納

日本標準規格 B-4

尙、農家ノ安定ヲ圖リ離農防止スベキ方策トシテハ自作農創設事業ノ強化、農業保険事業ノ擴充等各般ノ施策ヲ考慮シアリ。

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十九日

農林大臣 山崎達之



内閣總理大臣 東條英機 殿

意見書

(請願特別報告第一〇六號)

請願文書表第一七五號 昭和十八年二月九日呈出

離農防止ニ關スル請願

請願者 北海道上川郡名寄町第十六區 農業 加野島安太郎外十名

紹介議員 坂東幸太郎君

右請願ノ趣旨ハ現下食糧増産ニ邁進スヘキノ秋米價安肥料不足等ノ爲且又所謂適正小作料制度ノ實施以來水田地價カ著シク低下シタルニ因リ北海道ニ於ケル中小地主ハ土地放棄ノ已ムナキニ至リ離農相次クノ實情ナリ依テ速ニ之カ對策ヲ講セラレタシト謂フニ在リ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

二二十九

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長大木操



0000 0059

農閣第四九號

主査蓮池農政課長



八色原ヲ農地開發指定地ニ編入ノ請願

新潟縣南魚沼郡東村長

佐藤 五市 外三名 呈出

請願ノ要旨

新潟縣南魚沼郡ノ北部ニ位スル八海山麓ノ八色原ト稱スル曠漠タル平原ノ内約五割ノ山林未墾地ハ肥沃ナル農耕適地ニシテ從來地方民ノ開發ノ要望切ナルモノアリタルモ之力開發ハ單ナル民間企業トシテハ到底不可能ナリ依テ昭和十八年度ニ於テ前記八色原ヲ農地開發指定地ニ編入ノ上速ニ之ヲ開墾シ以テ局下食糧ノ増産ニ資セラレタシ

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スベキモノト議決セリ

右ニ對スル意見

請願ニ係ル地區ノ開發ニ付テハ目下本省ニ於テ調査中ニ有之調査ノ結果ニ依リ昭和十九年度以降ニ於テ相當考慮セントス

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月廿一日

農林大臣 山崎達之輔

内閣總理大臣 東條英機殿



小要結

日本標準規格 B-4

意見書

請願文書表第三二一號 昭和十八年二月二十六日呈出

(請願特別報告第二五三號)

八色原ヲ農地開發指定地ニ編入ノ請願

請願者 新潟縣南魚沼郡東村長 佐藤五市外三名

紹介議員 今成留之助君

右請願ノ趣旨ハ新潟縣南魚沼郡ノ北部ニ位スル八海山麓ノ八色原ト稱スル曠漠タル平野ノ内約五割ノ山林未墾地ハ肥沃ナル農耕適地ニシテ從來地方民ノ開發ノ要望切ナルモノアリタルモ之力開發ハ單ナル民間企業トシテハ到底不可能ナリ依テ昭和十八年度ニ於テ前記八色原ヲ農地開發指定地ニ編入ノ上速ニ之ヲ開墾シ以テ時局下食糧ノ増産ニ資セラレタシト謂フニ在り別冊及御送付候也 十四

昭和十八年三月二十五日

二

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣 東條英機殿

衆議院書記官長大木操



主枝 小山事務官(金葉)

一八閣商第五九號

軍需資材製作木工場新設ニ關スル請願ノ件

衆議院議決

請願者

北海道留萌郡留萌町長 岡田佐市

請願ノ要旨

留萌港ハ石炭、木材及其ノ他貨物ノ集散地ナルモ現在同港ニ集中スル木材ハ六十餘萬石ニ達、其ノ半ハ濶葉樹材ニ屬ス然ルニ從來針葉樹材ハ軍需竝ニ民需ニ主トシテ利用セラレタル結果今ヤ漸ク不足ヲ告ゲントシツツアルヲ以テ濶葉樹材ノ有效ナル利用方途ヲ

考究スルハ現下ノ急務ナリ依テ留萌町ニ軍部指定ノ軍需自動車又ハ重要兵器等ニ要スル組立資材製作工場ヲ新設シ以テ潤葉樹材ノ利用ヲ圖ラレ度ト謂フニアリ

右ニ對スル意見

本件軍需自動車又ハ重要兵器等ニ要スル組立資材ノ製作工場ノ新設ニ付テハ工場ノ規模、製品ノ製作計畫等ニ付陸海軍發註廳、親工場等ト協議シ之ガ軍利用可能ナリヤ否ヤヲ検討スル要アル處工場ノ立地條件、設備勞務等ノ調達其ノ他ノ諸條件ヲ勘案スルトキハ本件ノ實現ハ差當リ困難ナリト思料セラル

右閣議ヲ請フ

昭和十八年七月十四日

商工大臣 岸

信



内閣總理大臣 東條英機 殿

臣　　省

0000 0063

日本標準規格 B-4

意見書

(請願特別報告第六九號)

請願文書表第一四七號 昭和十八年二月六日呈出

軍需資材製作木工場新設ニ關スル請願

請願者 北海道留萌郡留萌町長 岡田佐市

紹介議員 松浦周太郎君外三名

右請願ノ趣旨ハ北海道西北部ニ位シ日本海ニ面スル唯一ノ商港タル留萌港ハ石炭、木材及其ノ他貨物ノ集散地ナルモ現在同港ニ集中スル木材ハ六十餘萬石ニ達シ其ノ半ハ濶葉樹材ニ屬ス然ルニ從來針葉樹材ハ軍需並民需ニ主トシテ利用セラレタル結果今ヤ漸ク不足ヲ告ケムトシツアルヲ以テ濶葉樹材ノ最^一有效ナル利用方途ヲ考究スルハ現下ノ急務ナリ依テ留萌町ニ軍部指定ノ軍需自動車又ハ重要兵器等ニ要スル組立資材製作工場ヲ新設シ以テ濶葉樹材ノ利用ヲ圖ラレタシト謂フニ在リ

衆 七〇

一

二

衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依

リ別冊及御送付候也

昭和十八年三月二十五日

衆議院議長岡田忠彦

内閣總理大臣東條英機殿

衆議院書記官長大木操

		衆乙 第五七號
		案起 昭和十八年八月十二日
		決議 昭和十八年八月十七日
		裁可 昭和十八年八月十七日 施行 昭和十八年八月十七日
内閣總理大臣	内閣書記官長	内閣書記官長
外務大臣	海軍大臣	内閣書記官長
内務大臣	司法大臣	内閣書記官長
大藏大臣	遞信大臣	内閣書記官長
陸軍大臣	商工大臣	内閣書記官長
農林大臣	鐵道大臣	内閣書記官長
	大東亞大臣	内閣書記官長
	大麻國務大臣	内閣書記官長
	後藤國務大臣	内閣書記官長
	厚生大臣	内閣書記官長
		内閣書記官長

三

別紙内務大臣請議衆議院議決留萌